

～新しい医療情報利用の未来ともう待てない認知症の現在～

第38回 お茶の水セミナーのご案内と演題募集

当番病院：公益財団法人 日産厚生会玉川病院

このたび、2018年度のお茶の水セミナーを日産厚生会玉川病院でお世話をさせて頂くことになりました。昨年に引き続き利便性の高いお茶の水医学会館での開催とさせていただきます。

当院は世田谷区の子玉川が最寄りの駅で、緑に囲まれた国分寺崖線の丘の上に立ち、その地盤には先土器時代からの昔の遺跡があります。地域に根ざした急性期から回復期までを担う病院として、二次救急の受け入れは救急車で年間5000台（応需率90%）であり、急性期後は回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟を利用した無理のない在宅移行を行なっています。同時にセンター化した専門医療として気胸、股関節、ヘルニア、リハビリなどでの先端的治療にも取り組んでいます。また当院は研究所を基盤とした公益財団法人として、研究活動にも力を注いでおります。医師67名のうち医科歯科大学関連として外科、整形外科、泌尿器科、眼科、産科、神経内科、糖尿病内科、膠原病内科に31名、研修医4名となっています。

今回は未来に向けて新たな情報活用による医療の発展の可能性を、東京大学医科研東條教授と東京医科歯科大学石川教授よりご講演を頂き、シンポジウムとして「認知症に対する取り組み」として、現在日本の問題となっている認知症の診断、病院での対処、予防などの活動につき話し合いたいと考えております。ご応募のほどよろしくお願いたします。

多数の方の参加をお待ちしております。

世話人 日産厚生会玉川病院 院長 和田 義明(医29・昭56卒)

記

- 日時：平成30年11月17日(土)
- 会場：お茶の水医学会館9F 大会議室

13:00 病院部会幹事会 8F 中会議室

13:30 病院部会総会 9F 大会議室

13:40 閉会

13:50～14:10

「総合教育研修センターの活動について」

東京医科歯科大学 総合教育研修センター
センター長 高橋 誠 先生

14:10～ 特別講演

医療における新たな情報活用—Genome医療とAI—

各60分(講演55分質疑5分)

14:10 特別講演 1「ゲノム診断と疾患予防、健康寿命の延長」

東京医科歯科大学 長寿・健康人生推進センター
センター長 石川 欽也 先生

15:10 特別講演 2「未来医療における人工知能(AI)のインパクト」

東京大学医科学研究所 分子療法分野
教授 東條 有伸 先生

16:10 休憩

16:20～シンポジウム 「認知症への取り組み」

講演 7分 討論3分 8演題ほど
各施設からの演題を募集します。

18:00 懇親会(会費1,000円) 8F 中会議室

演題募集要項

テーマ：

「認知症に関する取り組み」

応募資格：

関連病院で働く各職種の方々

応募要項：

演題名、所属、演者および共同演者名(演者名には○印)、内容抄録(800字以内)をWordまたはテキストファイル形式でe-mailにて下記に送付してください。

応募先：

ochanomizu38@tamagawa-hosp.jp (第38回お茶の水セミナー事務局)

応募締切：

平成30年9月28日(金) ※抄録集作成のため期日厳守でお願いします。